



「Teaching in English (TIE) 英語で教える」FD 講座

(対象：全教科の先生)

この研修では、Active Teaching と Communicative Teaching method を取り入れた指導力向上活動とともに、英語で授業を教えるための教室英語、指導論理、実践的な練習をします。

レッスン(90分×2コマ)	学習するスキル・レッスン内容
Session1	<ul style="list-style-type: none"> ■オープニング ■研修プログラムの紹介、目標設定 ■教室英語 Part 1 <ul style="list-style-type: none"> ・通じやすい教室英語の3つのコツ ■教室英語 Part 2 <ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションとフィードバック ※1人3分程度のスピーチあり ■まとめ、質疑応答
Session2	<ul style="list-style-type: none"> ■「英語で授業を教える」ための Active Teaching ■Active Teaching 実践 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の参加率を向上させる教え方 ・授業のタスクの種類を増やす方法 ■異文化コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・留学生、外国人教員とのコミュニケーションについて ■「英語で授業を行う」ために今すぐできること ■まとめ、質疑応答

中央大学 後楽園キャンパス

Inspiring Lectures in English

学習意欲を高める英語による講義のための講座

実施日：9月10日(火) 9：20～16：30

本講座は、学生の興味と関心を引き出す、楽しくダイナミックな英語による講義の構成をわかりやすく説明し、日本人学生のみならず留学生にも魅力的な講義の実践を可能にするための講座です。

英語レベルは中級者を対象とし、英語による講義となりますが、初中級者にとっても取り組みやすい内容になっております。最後には、習得した講座内容を実践いただき、学習内容をしっかりと身につけていただけます。

Lesson (90分)	Topics	Objectives
1	Structuring your lecture 講義を組み立てる	<ul style="list-style-type: none"> ● Opening lecture 講義の開始 ● Moving through and closing the lecture 講義を進める、終了する
2	Emphasizing important points 講義の重要ポイントを強調する	<ul style="list-style-type: none"> ● Signposting 講義の重要ポイントを注目させる ● Presenting two sides of an argument 1つの論点の異なる見方
3	Rephrasing for better understanding より理解を深めるための言い換え	<ul style="list-style-type: none"> ● Rephrasing Jargon 専門用語の言い換え ● Making analogies 類推させる
4	Practice session 実践演習	<ul style="list-style-type: none"> ● Giving Inspiring lecture in English using the skills learned in the course 習得したスキルを使って実際に学習意欲を高める講義を行ってみる



Maximize Your Value

Chuo FD Course

2019 年度講座（夏） シラバス

● Seminar #2 ; スピーキング・スキル-Basic

1 day, 90 分セッション×4 コマ

このコースは、英語を用いて授業を行ったり、何らかの学会発表などを行うまたは他の職務上の英語スピーキングを行う機会のある方を対象としています。日本人が直面する大きな壁である『発音・流暢さ』において、どのように伝わりやすいスピーキングへと変えていけるかがテーマです。

発音を始め自分のスピーキング能力に自信が持てないという方でも、講座で扱われるスキルを習得し、自己学習法をその後も実践し続けて頂くことで、「相手に伝わりやすい」話し方を身に付けられます。実践練習を多く盛り込んだ内容となっています。参加レベルとして、TOIEC スコア 700 程度が 1 つの目安となります。

Lesson	Content
1	Pronunciation 発音 <ul style="list-style-type: none"> • Phonetics 発音学 • Connected speech 連続発音について
2	Overview of speaking skills スピーキングスキルの概要 <ul style="list-style-type: none"> • Different types of speaking 多様なタイプのスピーキング • Communication vs. accuracy コミュニケーション能力と正確なスピーキング能力の重要性の比較 • Cultural awareness 文化的背景を知ることによるスピーキングスキル向上について
3	Self-study techniques 自己学習テクニック <ul style="list-style-type: none"> • Practical techniques for speaking skills self-study スピーキングスキル自己学習のための演習テクニック • Creating a 'second language ego' 「第二言語的自我」の形成
4	Speaking practice スピーキング演習 <ul style="list-style-type: none"> • Developing speaking through various activities スピーキング能力を向上させる様々なアクティビティの紹介

- **Seminar #1 ; 英語で効果的に授業を行うためのテクニック**
1 day, 90 分セッション×4 コマ

このコースは、英語で授業を行うことに興味・関心のある方、また将来的にその可能性についてご検討されている方向けとなっています。こうした講座に参加するのが初めてという方、また昨年度アゴスが実施した講座に参加された方にも大変有益な内容です。

英語で授業を行う際にどのような設計をすると効果的かという技術をお伝えすると共に、一方的な講義にならずに学生たちの活発な参加を促すために役立つ手法などを扱います。理論と技術を学んでいただいた上で、それぞれに発表(模擬授業)を行う実践演習の時間があります。

Lesson	Content
1	<ul style="list-style-type: none"> ● Basic presentation/lecture structure 授業実施におけるプレゼンテーション/講義の構成について ● Signposting 論理的な構成のための手法
2	<ul style="list-style-type: none"> ● Introductions 序論部分の構成 ● Finishing 結論部分の構成 ● Dealing with questions 質問事項への対応
3	<ul style="list-style-type: none"> ● Basic concepts and activities for student centred lessons 学生中心の授業のための基本的コンセプトやアクティビティ ● Classroom management techniques – giving instructions, facilitating group work, activity monitoring クラス運営における技法—教授法、グループワークの促進、アクティビティのモニタリングについて
4	<ul style="list-style-type: none"> ● Practice 演習



Maximize Your Value

Chuo FD Course 2019 年度講座（夏） シラバス

- **Seminar #3 ; Preparation, Practice, Coaching ; PPC[準備-演習-コーチング]**
1 day, 90 分セッション×4 コマ

<Parameters 講座設計>

- This course is targeting repeat participants. We can accept first-timers, but they may struggle.
受講経験者を対象とする。初めて受講する教職員を受け入れることは可能であるが、内容に付いていくのは困難と察せられる。
- Participants should bring material for a ten minute presentation. Ideally, something on PowerPoint saved in a USB drive. It would also be very useful if the participant brings his or her own laptop.
参加者は 10 分間のプレゼンテーションの為に資料を持参する。USB ドライブなどのデバイスに、パワーポイントスライドなどを入れた上で持参し、講座に参加されることを推奨。さらに、各自ラップトップ PC を持参出来れば理想的。
- As the approach is 'coaching', there will be no prescribed input of presentation skills – the 'input' will be personalized, depending on each student's weak points (so could include structure, body language, use of voice, use of PowerPoint, logical flow, use of English etc.)
この手法は“コーチング”であるため、プレゼンテーションの技法に関してレクチャーしたり知識を与えるものではない。講師からの情報提供は、個別形式であり、それぞれの参加者の弱点に焦点を当てたものとなる(構造面、ボディランゲージ、声質面、パワーポイントの用法、論理展開、英語の用法などが含まれる)。
- Maximum number of participants should be 12.
定員は最大 12 名。
- Sessions 2-4 can be modified depending on the number of participants.
セッション#2~4 は参加者数に応じて適宜内容等を調整される。

<Topic examples-プレゼンテーションのトピック選択肢>

1. 'The benefits of studying _____'
' _____ を学ぶことで得られるもの'
2. How to increase the number of Japanese students studying abroad
どのようにして日本人留学生の数を増加させるか
3. Problems and solutions of Japan's ageing society
日本の高齢化社会における問題点と解決策
4. How technology will affect future work and/or study
テクノロジーは将来の仕事もしくは研究にどのように影響を及ぼすか
5. Teach one concept or teaching point from your field
ご自身の研究分野の中から、一つの概念もしくは指導ポイントを選び、それについて発表する
6. Other
その他 (ご自身で好きなトピックを考えていただきそれについて発表する)

<プレゼンテーション準備をする上でのポイント>

It would be helpful for the participants to imagine before they start:

1. Who the audience would be for their presentation
2. Where the presentation would take place

This is because they'd need a different approach for giving a presentation to 300 people at an international conference, compared to giving a lecture to 50 undergrad Chuo students, compared to giving a seminar presentation to small group of post graduate students, etc.

参加者の方は、以下について事前に想定しておくこと、役立つと思われる。

1. プレゼンテーションはどのような人（聴衆）向けに行われるか
2. どこで行われるか

国際会議で 300 人に向けたプレゼンを行うのか、50 人の中央大学生に向けて授業をするのか、それとも大学院生の小規模なゼミでプレゼンを行うのか、等といった場面設定によって、それぞれ異なるアプローチが必要となる。そのため、上記についてあらかじめ想定しておくことを推奨する。

Session	Theme	Contents
1	Preparation 準備	<ul style="list-style-type: none"> • Warm-up – starting strong, ‘owning’ the space ウォームアップ-冒頭で強く印象付け、場を“支配”するテクニックについて • Preparation – participants prepare a 10 minute presentation on their topic 準備-参加者は、各自のトピックに関して 10 分間のプレゼンを準備する
2	Practice and Coaching 1 – Small Groups 演習とコーチング①-小グループ	<ul style="list-style-type: none"> • Participants practice in pairs/small groups 参加者はペアワークもしくは小規模のグループで演習する • Trainer gives feedback, advice, modelling, repairing 講師からのフィードバック・アドバイスが与えられる。また、技術的な修正ポイントも提示される
3	Practice and Coaching 2 – Larger Groups 演習とコーチング②-大グループ	<ul style="list-style-type: none"> • Participants practice in larger groups 参加者は規模の大きなグループで演習する • Trainer gives feedback, advice, modelling, repairing 講師からのフィードバック・アドバイスが与えられる。また、技術的な修正ポイントも提示される
4	Practice and Coaching 3 – Whole Group 演習とコーチング③-全体	<ul style="list-style-type: none"> • Participants give their presentation to the whole group 参加者は全員の前でプレゼンを行う • Trainer gives final feedback 講師からフィードバックが与えられる